

よもっと

うちどくおすすめ絵本通信 vol.21 2023.9

<よもっと>は、
幼児保護者向け
うちどく（家族読書）絵本情報紙です。

うちどくで、毎日がたのしく、らくになることを
願って、2カ月おきに発行します。

【発行：取手市立図書館】

今号のテーマ【ひかり】

【対象年齢の目安】🍷…2.3歳～ 🌿…4.5歳～

今回は光の描写が特徴的な絵本を探してみました。絵本作家さんによって絵の表現は異なります。そこで、芸術の秋です！お話の内容はもちろんですが、絵の描き方や色の塗り方にも注目してみるのはいかがでしょうか？

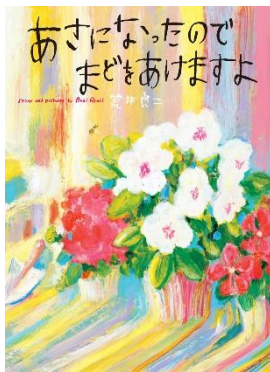


おじいさんとその孫が湖で朝を迎えるお話。真っ暗な中から夜が明けて、朝の光が眩しく感じられます。

本に描かれている焚火の光や、お日様の光は温かく、眩しくてまるで本が輝いているよう。私もその情景を一緒に見たかった…と思えるくらい美しく幻想的な絵本です。



1

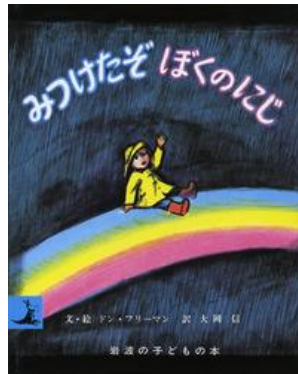


2

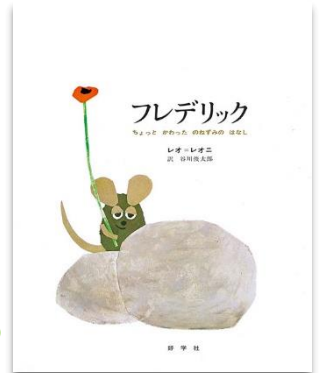
いろんな朝でいっぱい！どれも爽やかに見ているこっちまで、気持ちよくなれそう。



3



4



冬を越すのに必要なものは、たくさんの食べ物と寝床と……色や言葉、そしておひさまの光！



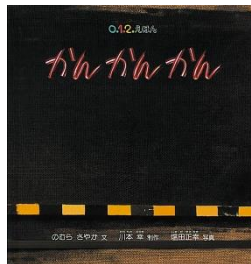
5



おつきさまこんばんは。いつも暗い夜を照らしてくれて、ありがとう！



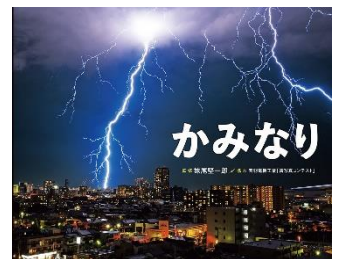
6



光は暗い場所があつてこそ！かかんかん、何が通るのかしら？



7



どうしてかみなりは光るんだろう？ 迫力ある写真と一緒に考えよう。

1. [よあけ](#)
2. [あさになったのでまどをあけますよ](#)
3. [みつけたぞぼくのじ](#)
4. [フレデリック](#)
5. [おつきさまこんばんは](#)
6. [かかんかん](#)
7. [かみなり](#)

ユリー・シュルヴィッツ／作・絵 福音館書店
荒井 良二／著 偕成社
ドン・フリーマン／文・絵 大岡 信／訳 岩波書店
レオ・レオニ／作 谷川 俊太郎／訳 好学社
林 明子／さく 福音館書店
のむら さやか／文 川本 幸／制作 塩田 正幸／写真 福音館書店
妹尾 堅一郎／監修 音羽電機工業「雷写真コンテスト」／協力 ポプラ社

